

## 普及活動情勢報告（平成27年7月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 炭そ病対策をしっかりと！！ ～JA 高知市介良支所イチゴ部 現地検討会～



現地巡回をして育苗状況を確認

6月23日、高知市介良で現地検討会が開催され、生産者11名が参加しました。次作用に育成しているイチゴ苗床の現地ほ場を巡回し、生育や栽培管理状況について、生産者同士で検討しました。

普及所からは、前作で多発した炭そ病の対策として、灌水方法や薬剤予防、発病株の早期除去などこれからの管理のポイントを説明しました。

今後、普及所はJAと協力して育苗状態の確認を行い、炭そ病の発生しない良質苗の確保を図ります。

### 集落営農の取り組みを学ぼう ～高知市「集落営農塾」の開催～



「集落営農塾」の様子

6月25日、高知市中山間地域構造改善センター（高知市鏡）で、農業者等38名が参加し、第1回の「集落営農塾」を開催しました。

今回は、四万十町見付権七営農協議会の林氏による集落営農の取り組み事例の講演や、県から集落営農に関連する制度の説明を行いました。参加者からの質問も多く、集落営農についての理解も深まった様子でした。

普及所では、地域農業の維持・活性化のために集落営農組織の育成を重要な課題とし、推進体制の強化と「集落営農塾」の開催を今後も行います。

### 新規就農者同士で意見交換



熱心に行われたグループ討議

7月3日、高知市中央卸売市場で、高知市の主催の「青年就農給付金（経営開始型）給付対象者意見交換会」が開催され、13名の新規就農者が参加しました。

3名の新規就農者の経営事例の発表を行った意見は述べ後、3つのグループに分かれ、互いの経営の紹介と意見交換が行われました。普及所は各グループにファシリテーター（促進を行う）として参画し、各人の悩みや目標を引き出し、他者の意見を聞くことで自己の経営を見直せるよう誘導しました。

普及所では今後も関係機関と連携しながら、新規就農者が抱える技術や経営などの課題解決に向けた支援をします。

環境制御技術導入の加速化のために ～「高知市環境制御技術研究会」が発足～



研修を受ける生産者

施設園芸での環境制御技術の普及のため、普及所が JA 高知市や各部会に研究会活動を提案した結果、イチゴやピーマン等の野菜部会に花き生産者も加わった「高知市環境制御技術研究会」が 6 月に発足しました。そして、6 月 30 日に当普及所で研修会を開催し、生産者及び関係機関 41 名が、「環境制御技術」とともに「大地震での燃料タンク対策」についても学びました。講演後は多くの質問が出され、生産者の関心の高さが伺えました。

普及所は生産性の向上のため、今後も本研究会の活動をサポートし、環境制御技術の導入を進めます。

より効率で効果的な普及活動のために ～普及推進協議会の開催～。



普及活動への様々な意見が出ました

7 月 13 日に当普及所で生産者の代表と関係機関の方々から普及活動について意見をいただく普及推進協議会を開催しました。

普及所から重点プロジェクト課題や「キュウリの産地維持と生産安定」、「担い手の確保・育成」、「地域特性に応じた集落営農組織の育成」等の課題の取り組みについて説明しました。参加者からは「キュウリの収量が低い人の改善が必要」、「炭酸ガス、マイクロバブル、天敵についてのマニュアルを作成してほしい」等、様々な意見が出ました。

今後も、普及所はこれらの意見を参考に関係機関と連携し、生産者や地域への普及活動に努めます。